

# 日本郵船株式会社名古屋支店

## SDGsの取組

<b>取組・活動内容</b>	当社グループは、2018年に策定した中期経営計画“Staying Ahead 2022 with Digitalization and Green”で、ESGを経営戦略に統合し、事業活動を通じ社会の持続的な発展に貢献するとともに、“Bringing value to life.”という基本理念の下、企業価値と社会価値を向上していくことを目指しています。海・陸・空の幅広いフィールドで事業を展開する企業として、SDGsの達成に貢献すべく、事業活動を通じた取り組みを推進してまいります。		
	<b>目指すゴール</b>	<b>取組・活動内容とゴールとの関係</b>	<b>目標</b>
<b>経済</b>	7, 8, 9, 13, 14, 17	新規事業としてのエネルギー分野への挑戦	2030年 *洋上風力発電：バリューチェーン全体に参画。 *水素・アンモニアサプライチェーンの構築:水素燃料船への供給対応やアンモニア燃料混焼の石炭火力への供給対応。 *アンモニア・水素を燃料とする船舶の技術開発
<b>社会</b>	4, 7, 9, 17	①愛知県内の小中学生や港運・貿易に携わる若手職員を対象とした海運・船に関する啓発・教育活動や名古屋港・三河港での弊社運航船見学会の実施 ②国内LNG燃料供給事業の推進	①愛知県内における年間2件以上の左記啓発活動の実施 ②a. 愛知県内での船舶向けLNG燃料の供給開始(2020年10月)し、今後供給量を増やしていく予定。 ②b. 九州・瀬戸内地域における船舶向けLNG燃料供給事業を検討中
<b>環境</b>	13, 14, 17	当社グループ全体での温室効果ガス削減への取り組み	短・中期目標: (船舶・航空)2030年度 -30% (2015年比) 長期目標: :2050年までに外航海運事業におけるネットゼロエミッション達成